

小松市教育委員会会議録

会議名	令和5年第10回小松市教育委員会定例会					
開会月日	令和5年8月18日(金)	場所	教育長室			
会議時間	(開会) 午前10時30分～(閉会) 午前11時00分					
休憩時間	① (休憩) 午前・午後 時 分～(再開) 午前・午後 時 分 ② (休憩) 午前・午後 時 分～(再開) 午前・午後 時 分					
委員の出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	吉原 慎吾	出席	委員	中惣 恭子	出席
	委員	村井 啓介	出席	出席委員 4名 欠席委員 0名		
出席説明者	事務局長 林 政憲		出席	局次長兼教育庶務課長 東谷 勝美		出席
	教育ディレクター 中田 一宏		出席	学校教育課長 宮森 陸夫		出席
	教育研究センター所長 表 久美子		出席	生涯学習課長 藤本 圭志		出席
	図書館長兼南部図書館長 田中 明子		出席	ひとものづくり科学館 副館長 宮島 浩典		出席
	市立高校事務長 出口 真澄		出席	市立高校教頭 奥田 幸雄		出席
書記	教育庶務課事務員 二木 有希		出席			
傍聴者	0 名					
会議に付した議題	【議案】					
	・議案第20号 教育委員会事務事業点検・評価報告書(令和4年度事業対象)について(教育庶務課)					
	・議案第21号 スマイルハート賞表彰要綱の一部改正について(生涯学習課)					
	【報告事項等】					
	・令和5年度小松市グッドマナーキャンペーンについて(生涯学習課)					
	・体験入学アンケート結果について(市立高校)					

教育委員会報告

令和5年8月18日

【議案】

件名	議案第20号教育委員会事務事業点検・評価報告書 (令和4年度事業対象)について
所管部課名	教育庶務課
内容	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は毎年事務事業について点検・評価を行い、その結果について報告書を作成し議会に報告するとともに、公表することとなっている。</p> <p>評価にあたっては、学識経験者に知見を求めることになっており、今年度も公立小松大学に依頼し、横川副学長より「活動全般を通して目立った瑕疵や事故もなく良好に実施された結果、事業全てが4段階評価の『達成』に至ったものと判断するとの意見を頂いている。」また、「小松市が理念として掲げる、産業、文化、健康、国際、教育都市の実現の原動力となるのは、きめ細かい教育のネットワークであり、その対象として、幼児、児童、生徒、学生を含む市民全体を視野に置いた教育施設である」という言葉も頂いているが、令和4年度事業において、改善が見られ評価が上がった事業が各世代に渡ったことは、まさに細やかな教育のネットワークの一端を担う成果であったと考えている。</p>
教育委員等の意見	特になし
	議案第20号承認

件名	議案第21号スマイルハート賞表彰要綱の一部改正について
所管部課名	生涯学習課
内容	要綱内の一部の文言を改正するもの。
教育委員等の意見	特になし
	議案第21号承認

【報告事項等】

件名	令和5年度小松市グッドマナーキャンペーンについて
所管部課名	生涯学習課
内容	小学校はウォームアップ週間～9月29日を中心に、中学校・高等学校・市内協力団体は9月20日～22日を強化週間として、各学校周辺及び市内3駅において、早朝に交通指導・挨拶運動を実施する予定。
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>良い活動だと考えるがマンネリ化してきている。児童会や生徒会が自らグッドマナーキャンペーンに参加するような働きかけが重要だと考える。</p>
回答	<p>【藤本生涯学習課長】</p> <p>学校教育課と連携し進めていきたい。</p>

件名	体験入学アンケート結果について
所管部課名	市立高校
内容	<p>7月24日（月）に開催した体験入学には451人の生徒が参加した。アンケートの回答については、ミニコンサートや在校生による学校説明ともに満足という回答が多かった。体験授業についてはOST（オンラインスピーキングトレーニング）を今年度初めて取り入れた。</p> <p>11月11日（土）には芸術コースの体験入学を開催予定。</p>
教育委員等の意見	<p>【北村委員】</p> <p>毎年、満足度が高いことは良いことであるが、様々な進学先や市立高校ならではのカリキュラム等、他の学校と差別化できるものをもっとPRすべきである。中学生だけでなく、保護者や中学の教師にも伝えることも必要であると考え。</p> <p>【吉原委員】</p> <p>体験入学のやり方は毎年同じものか。毎年一緒にしている理由はあるか。体験入学に参加してくれる中学生は受験してもらえる可能性がある候補生なので、より良い印象を持ってもらえる工夫が大事。学校への満足度・印象度を上げる工夫を体験入学に組み込むことが必要。一般企業ではそういった点が競争となる部分である。</p> <p>【石黒教育長】</p> <p>毎年同じではマンネリ化する。学生に来てほしいというような期待感を最大限に表現していく。生徒の良さをどれだけ発信できるか。</p>

	その良さを引き出す学校の魅力や環境のすばらしさを様々な視点で感じさせることが大事。受験者数増加のための戦略を学校として考えることが重要。
回 答	<p>【出口事務長】 秋には中学校へ訪問し、学校説明会を行うのでしっかりとPRしていく。</p> <p>体験入学のやり方は毎年概ね同じ。内容について校長・教頭が中心に考えている為、毎年同じような内容にしている理由は申し上げられないが、アンケートの結果が良好であること、教師は公立学校から異動してきている為、公立高校のやり方に準じている可能性がある。</p> <p>体験入学に参加してくれた学生に対し、印象度を高める工夫を考え、秋若しくは次年度に検討していく。</p>

【その他】

件 名	次回教育委員会会議日程について
内 容	日時：令和5年9月4日（月）午前13時30分 場所：小松市役所6階教育長室

【教育委員からの意見・提言】

吉原委員	全国学力テストの石川県の結果が良かった。市内の学校への計画訪問もあるので小松市として、また各学校の状況を教えてほしい。
北村委員	<p>全国学力テストの結果を次回の教育委員会会議で報告してほしい。</p> <p>不登校について、学校に来てもらうことも目的であるが、それ以上に社会でどう自立していくか、幸せな人生を送っていくことができるかが最大の目的。そのことを踏まえて小中学校の間でケアしていくことが大事。</p> <p>県内の高校への進学先が順位付きで新聞に掲載されている。どのような経緯で新聞会社は情報を入手しているのか。また、教育委員会より順位付けをやめていただくように要望してほしい。</p> <p>【石黒教育長】 不登校生徒について、市内の3校の中学校でサイエンスヒルズや病院と連携し、高齢者が軽スポーツをするサポートを不登校生徒に協力してもらい、生徒に達成感や活力得てもらう機会を与えている。そういった経験の積み重ねが社会で生きていくための望みを見つけていくきっかけになると考えている。</p> <p>進路先の順位公表について昨年も要望しているが実現していない。教育長会議があるので議題としていきたい。</p>

<p>中惣委員</p>	<p>先日、小松市が40度を記録した猛暑日に市立高校の生徒が歩いて下校していたので話を聞いてみたところ、バスの本数が少なく、歩いて下校するしかないと言っていた。保護者目線で考えると、カリキュラムや内容云々ではなく、通学手段の安全性等で進学先を検討することもあると考える。バス等の本数はどうにかならないか。</p> <p>【石黒教育長】</p> <p>生徒のアンケート等からもバスの大事さがうかがえる。市長も理解している。改善できていくと考える。</p>
<p>村井委員</p>	<p>グットマナーキャンペーンについて、マナーは備わって然るべきもの。普段の生活やスポーツや遊びの中でも育まれるものだと思える。キャンペーンをきっかけの1つとしてマナーや大切さや意味合いを伝えていけるような取り組みとしてほしい。</p> <p>市立高校の活性化について、他校との差別化を図ることが大事。市立高校に行かないとできないこと・行けばできることを前端的に売り出し受験生の心をつかんでいく。失敗することもあると思うが、変化していかなければ大きな変化のきっかけにならないと考える。</p> <p>これから運動会のシーズンに入っていく。今年の暑さは尋常ではないため、より一層注意警戒を行ってほしい。</p>